

## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社栗本鐵工所  
コード番号 5602 URL <https://www.kurimoto.co.jp>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊本 一高  
問合せ先責任者(役職名) 総合企画室長 (氏名) 大野 博史  
四半期報告書提出予定日 2023年11月2日 配当支払開始予定日 2023年12月4日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	59,951	10.9	3,693	62.1	4,032	71.6	2,883	76.5
2023年3月期第2四半期	54,054	18.3	2,277	692.1	2,350	544.9	1,633	744.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 5,801百万円(214.8%) 2023年3月期第2四半期 1,842百万円(365.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	237.71	—
2023年3月期第2四半期	133.86	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	148,636	76,995	51.2
2023年3月期	145,164	72,963	49.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 76,067百万円 2023年3月期 71,608百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	50.00	90.00
2024年3月期	—	50.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	△3.9	6,000	△12.3	6,000	△12.6	4,000	△15.4	331.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期2Q	12,798,490株	2023年3月期	13,098,490株
2024年3月期2Q	828,407株	2023年3月期	889,485株
2024年3月期2Q	12,130,511株	2023年3月期2Q	12,204,533株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」の信託財産として日本カストディ銀行(信託Eロ)が所有する当社株式(2024年3月期2Q 39,180株、2023年3月期2Q 12,405株、2023年3月期42,822株)が含まれています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料等)

四半期決算補足説明資料は、説明動画とともに2023年11月24日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、為替変動、資源価格の高騰や物価上昇の影響がありましたが、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に移行し、行動制限や諸規制が緩和されたことにより、景気は緩やかに回復してまいりました。しかしながら、依然として経済情勢は先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、企業価値の更なる向上と経営基盤強化のため、コストダウン活動や営業活動の強化に努め、事業展開を図っております。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、「ライフライン事業」「機械システム事業」「産業建設資材事業」のすべてのセグメントにて売上高が増加したことにより、前第2四半期連結累計期間比5,897百万円増収の59,951百万円となりました。

損益面では、売上高の増加、売上構成の変化に加え各種原価低減活動の効果もあり、営業損益は、前第2四半期連結累計期間比1,415百万円増益の3,693百万円の利益、経常損益は、前第2四半期連結累計期間比1,682百万円増益の4,032百万円の利益、親会社株主に帰属する四半期純損益は、前第2四半期連結累計期間比1,249百万円増益の2,883百万円の利益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

「ライフライン事業」は、売上高につきましては、パイプシステム部門において納入先の現場工事の進捗が予定より進み、下期の売上予定案件が、上期に前倒しで売上計上されたことなどにより、前第2四半期連結累計期間比3,161百万円増収の31,093百万円となりました。

営業損益につきましては、パイプシステム部門、バルブ部門がともに増収となった影響などにより、前第2四半期連結累計期間比884百万円増益の2,428百万円の利益となりました。

「機械システム事業」は、売上高につきましては、機械部門において粉体機器、プレス機器の売上高が増加し、素形材部門において破碎機及び部品の売上高が増加したことなどにより、前第2四半期連結累計期間比1,675百万円増収の14,155百万円となりました。

営業損益につきましては、機械部門、素形材部門がともに増収となった影響などにより、前第2四半期連結累計期間比357百万円増益の617百万円の利益となりました。

「産業建設資材事業」は、売上高につきましては、建材部門において空調製品、消音製品等の下期の売上予定案件が、上期に前倒しで売上計上されたことなどにより、前第2四半期連結累計期間比1,060百万円増収の14,702百万円となりました。

営業損益につきましては、建材部門が増収となった影響などにより、前第2四半期連結累計期間比274百万円増益の768百万円の利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形、売掛金及び契約資産、電子記録債権が減少しましたが、現金及び預金が増加、投資有価証券の時価が上昇したことなどにより、前連結会計年度末比3,472百万円増加の148,636百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金、電子記録債務が増加しましたが、短期借入金、未払法人税等、賞与引当金などが減少したことなどにより、前連結会計年度末比560百万円減少の71,640百万円となりました。

純資産につきましては、配当金支払いによる減少、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、その他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末比4,032百万円増加の76,995百万円となりました。

《キャッシュ・フローの状況》

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は8,320百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上、減価償却費の発生、売上債権の減少、仕入債務の増加による資金の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は1,264百万円となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は3,991百万円となりました。これは主に短期借入金の減少、長期借入金の返済、自己株式の取得による支出、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました連結業績予想より変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,334	23,452
受取手形、売掛金及び契約資産	40,149	36,395
電子記録債権	10,467	10,017
商品及び製品	11,338	12,407
仕掛品	6,246	7,752
原材料及び貯蔵品	3,804	3,924
その他	1,253	997
貸倒引当金	△127	△124
流動資産合計	93,466	94,822
固定資産		
有形固定資産		
土地	13,846	13,852
その他(純額)	19,448	19,403
有形固定資産合計	33,295	33,255
無形固定資産		
その他	1,443	1,318
無形固定資産合計	1,443	1,318
投資その他の資産		
投資有価証券	12,347	16,154
その他	4,838	3,236
貸倒引当金	△227	△150
投資その他の資産合計	16,958	19,239
固定資産合計	51,697	53,813
資産合計	145,164	148,636

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,353	16,910
電子記録債務	14,257	17,281
短期借入金	19,850	18,010
1年内返済予定の長期借入金	696	414
未払法人税等	2,231	900
賞与引当金	2,767	1,831
その他の引当金	485	357
その他	6,668	6,036
流動負債合計	62,311	61,741
固定負債		
長期借入金	118	60
引当金	13	10
退職給付に係る負債	8,347	8,351
その他	1,410	1,476
固定負債合計	9,889	9,898
負債合計	72,200	71,640
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	31,186	31,186
資本剰余金	6,873	6,895
利益剰余金	30,828	32,439
自己株式	△1,778	△1,813
株主資本合計	67,109	68,708
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,212	6,904
繰延ヘッジ損益	0	-
為替換算調整勘定	198	328
退職給付に係る調整累計額	87	126
その他の包括利益累計額合計	4,498	7,358
非支配株主持分	1,355	928
純資産合計	72,963	76,995
負債純資産合計	145,164	148,636

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	54,054	59,951
売上原価	41,220	44,996
売上総利益	12,833	14,954
販売費及び一般管理費	10,556	11,261
営業利益	2,277	3,693
営業外収益		
受取配当金	192	210
受取保険金	14	124
その他	135	199
営業外収益合計	342	534
営業外費用		
支払利息	75	88
その他	194	105
営業外費用合計	269	194
経常利益	2,350	4,032
特別利益		
投資有価証券売却益	68	-
関係会社有償減資払戻差益	-	18
その他	1	0
特別利益合計	70	18
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	2	0
特別損失合計	2	0
税金等調整前四半期純利益	2,418	4,050
法人税、住民税及び事業税	722	758
法人税等調整額	14	350
法人税等合計	737	1,108
四半期純利益	1,680	2,941
非支配株主に帰属する四半期純利益	47	58
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,633	2,883

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,680	2,941
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△98	2,691
繰延ヘッジ損益	6	△0
為替換算調整勘定	196	129
退職給付に係る調整額	57	38
その他の包括利益合計	161	2,859
四半期包括利益	1,842	5,801
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,795	5,743
非支配株主に係る四半期包括利益	46	57

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,418	4,050
減価償却費	1,456	1,467
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7	△79
受取利息及び受取配当金	△193	△211
支払利息	75	88
売上債権の増減額(△は増加)	5,653	4,528
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,259	△2,682
仕入債務の増減額(△は減少)	△268	4,754
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△28	59
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△68	-
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	△1	1
有形及び無形固定資産除却損	8	9
その他	△796	△1,873
小計	3,987	10,111
利息及び配当金の受取額	231	253
利息の支払額	△75	△89
法人税等の支払額	△218	△1,956
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,926	8,320
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
関係会社株式の有償減資による収入	-	88
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	93	-
有形及び無形固定資産の取得による支出	△685	△1,406
有形及び無形固定資産の売却による収入	3	21
貸付金の回収による収入	0	74
その他	△7	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△595	△1,264
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,300	△1,840
長期借入金の返済による支出	△866	△340
リース債務の返済による支出	△18	△36
自己株式の取得による支出	△0	△700
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△438
配当金の支払額	△427	△611
非支配株主への配当金の支払額	△19	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,632	△3,991
現金及び現金同等物に係る換算差額	190	52
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,110	3,116
現金及び現金同等物の期首残高	21,299	20,275
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,188	23,391

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年8月4日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項及び会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却について決議し、2023年8月31日までに自己株式242,400株を699百万円で取得し、2023年8月31日付で自己株式300,000株の消却を実施しております。この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ659百万円減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ライフライン事業	機械システム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	27,932	12,479	13,642	54,054	—	54,054
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60	40	26	128	△128	—
計	27,992	12,520	13,668	54,182	△128	54,054
セグメント利益	1,543	260	494	2,298	△20	2,277

(注) 1 セグメント利益の調整額△20百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントが負担する販売費、一般管理費、試験研究費の配分差額9百万円及び棚卸資産の調整額△35百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ライフライン事業	機械システム事業	産業建設資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	31,093	14,155	14,702	59,951	—	59,951
セグメント間の内部売上高 又は振替高	54	56	7	118	△118	—
計	31,147	14,211	14,710	60,069	△118	59,951
セグメント利益	2,428	617	768	3,814	△121	3,693

(注) 1 セグメント利益の調整額△121百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントが負担する販売費、一般管理費、試験研究費の配分差額292百万円及び棚卸資産の調整額△421百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。